

中央図書館 移転・開館!!



中央図書館は、約50年間お世話になった中区基町を離れ、南区松原町のエールエールHIROSHIMA 8～10階に移転し、令和8年4月1日(水)に開館しました。

8階は「こどもと青少年のフロア」。これまで中央図書館では所蔵していなかった絵本や児童図書のほか、子育て情報コーナー、中高生世代向け図書をテーマ別に並べた「ジュウダイノタナ」、自習室、多目的室などがあり、こどもや中高生世代が本と出会い、学び合う場所となっています。

9階は「広島を知るフロア」。調べるための辞書・事典や、広島に関する図書を配置しています。書庫内資料の受け渡しも9階のカウンターで行います。また、広島市郷土資料館サテライトも同フロアにあります。日々の暮らしや広島についての調べものは、このフロアをご利用ください。

10階は「図書と映像のフロア」。ご自身で本棚から予約本を取り出し貸出手続きをする「予約本受取コーナー」や、雑誌・新聞の閲覧コーナーがあるほか、これまでは書庫に収めていた全集などを自由に手にとっていただけるよう配置した「公開書庫」を設けています。広島市映像文化ライブラリーが併設されているのもこのフロアです。

平日は朝10時から夜9時まで開いていますので、学校や仕事が終わった後にも立ち寄っていただけます。土日祝は朝10時から夕方6時まで、自習室・多目的室のみ朝10時から夜9時までです。詳しくは中央図書館カレンダーをご確認ください。

開館から1年間はオープニングイヤーとして、新しい中央図書館を知っていただくための様々なイベントを準備しています。新しい中央図書館にご期待ください!

図書館司書がおすすめるこの1冊「挑戦」

児童書

『ひとりでおとまり
したよるに』

フィリパ・ピアス／文
ヘレン・クレイグ／絵
さくま ゆみこ／訳
徳間書店 2014年



エイミーは、おばあちゃんの家で一人で泊まりに行くことを宣言。「ひとりで だいじょうぶなの？」というお母さんの言葉にも「だいじょうぶにきまってるよ」と力強く答えます。そして、自分のかばんにこっそり宝物を三つ入れて行きます。

夜、目を覚ましたエイミーは「おうちに帰りたいな」と思いますが、持ってきた一つめの宝物を取り出します。それは、自分の部屋にあった小さなマット。エイミーが座るとマットは浮き上がり、窓から空に飛び出して……。

幼い子の小さな挑戦と、揺れ動く不安な気持ちを幻想的に描いた絵本です。

一般書

『老いはヤケクソ』

佐藤 愛子／著
リベラル社 2025年



たくさんの作品を世に送り出し、辛口で知られる作家の佐藤愛子さんは、「これで終わり」と言いながらも原稿を書き続けました。しかし、100歳を超えると認知機能の衰えから原稿用紙に向かうこともなくなりました。

本書は、そうした時期に受けたインタビューをまとめたものです。肩書は自ら、文字面に迫力が出るからと「百姫(ひゃくおうな。本人いわく100歳の高齢女性の意)」とし、「我慢しないのが信条」などの心境を率直に語っています。

他にも過去のインタビュー記事、家族や師を語るエッセイや話題となった作品の紹介なども収められています。

こんな歳の重ね方もいいなと思わせてくれる一冊です。

中央図書館 座席予約システム

中央図書館の自習席やインターネット利用席などの利用に、座席予約システムでの予約ができるようになりました。

座席の予約・利用にはご本人の広島市立図書館貸出利用券が必要です。「Myライブラリ」のパスワードを設定されている方は、ご自宅のパソコンやスマートフォンで広島市立図書館ホームページから予約をすることもできます。ぜひご利用ください。

詳しくは図書館ホームページをご覧ください。



中央図書館8階自習室の様子

編集・発行

広島市立中央図書館
(公益財団法人 広島市文化財団)

〒732-0822 広島市南区松原町9番1号
エールエールHIROSHIMA 8~10階
TEL: 082(298)0560(代表)
082(298)0562(多目的室)
FAX: 082(298)0561

ホームページ



Facebook



Instagram

